

## 今後の大学生活とミライを考えるきっかけづくり 「技術士を知ろう！ in 北海学園大学 1年生編」

### 1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2019年度の活動第1弾は、昨年引き続き北海学園大学の1年生を対象に実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て、実施しています。

### 2. 実施概要

開催日時：2019.5.30(木)9:00～10:30

講義内容：技術士について

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

土木全般の仕事紹介

対象者：北海学園大学社会環境工学科

1年生53名

参加幹事：小澤、木本(記)、三吉(ミライ研3名)、

斉藤(青技交1名)

### 3. 技術士について

小澤代表より、技術士資格の説明として、技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってからの仕事をする上で資格取得の重要性や、業界における公務員・建設会社・コンサルタントの役割等の説明を行いました。

自身の資格取得歴や会社での処遇、社会人自己紹介での名刺による「武器」の実例説明で、まだ進路が漠然としている1年生にも大いに刺激になったようです。終了後に回収したアンケートでは「資格の大切さを知った」「技術士資格の必要性、メリット」が分かった等の感想が多く寄せられました。



写真-1 冒頭の概説を行う小澤代表



写真-2 会場内の様子

### 4. 技術士の仕事内容と役割

#### (1) 技術士の仕事(斉藤技術士補)

具体的な仕事内容の紹介は、まず学園大のOBでもある、日本データサービス㈱に所属する斉藤技術士補より、土木系(交通計画)コンサルの仕事の講演を行いました。斉藤技術士補からの講演では、公共交通に関わる仕事を中心に、今年度、大樹町で実施しているバスの自動運転実証実験の内容を紹介。

また、OBからの後輩へのメッセージとして、将来への発想、技術士取得への苦労など“ぶっちゃけ”トークも交えての説明で、土木業界の魅力や楽しさが学生たちにも伝わったのでは、と思っています。

## (2) 技術士の仕事(三吉技術士)

続いて、北電総合設計(株)に所属する三吉技術士から、自身の担当してきた環境アセスメントに関する仕事のほか、河川分野に関する仕事として、河川計画や構造物設計、環境調査などの概要を紹介しました。また、近年取り組んでいる新技術への挑戦事例として、泥炭を河川堤防に再利用するための技術等を紹介。技術士として解決策の提案に向けた考え方や道筋について実証実験の実施等、具体例を交えて紹介したことで、業界や技術士という資格の魅力が学生たちにも伝わったのでは、と思っています。

## 5. 土木の仕事全般の紹介

講演最後は、筆者より土木の仕事全般を対象に、2人の講演で紹介しきれなかった様々な土木の仕事を写真で紹介。様々な仕事があることを知ってもらい、学生たちが自分の将来を考える機会になれば、と考えて用意したのですが、まだ漠然としてしか自分の「専門」を意識できていない1年生には少しでも参考にしていただけたようです。



写真-3 世代が近く親しみやすい語り口で説明したOBの斉藤技術士補(青技交 幹事)

## 6. 質疑応答

筆者の進行で参加メンバーが学生からの質問に回答する質疑応答では、講演で紹介した公共交通に関する仕事を行う上で気を付けていること、やりがい等の質問、なぜ今の仕事を選んだのか等、学生たちの今後の就職活動に関わる直接的な質問も出ました。

## 7. まとめ

学生からの感想には「今日の講演を聴いて、技術士の資格のメリットなどについて改めて詳しく知る事が出来てよかったです。技術士資格を取ることを目標に意識して勉強していきたいと思いました。」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。また、「土木の様々な仕事についてもっと詳しく知りたいと興味を持った。」というような感想もあり、業界や資格のイメージアップにもつなげられたかなと考えています。

アンケートでは、53人中43人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、53人中43人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価で4.5、4.6と学生に高評価だったのも一因だったのでは、と考えています。



写真-4 対照的に、「優しいおじさん」的な存在として優しい語り口で説明する三吉技術士(幹事)